

平成 26 年度財務状況

学校法人は、昭和 46 年 4 月 1 日付文部省令第 18 号「学校法人会計基準」に則して会計処理を行い、決算時には会計処理結果を表す、財務計算に関する書類「計算書類」を作成しなければなりません。この「計算書類」は一般企業の決算書に相当し、資金収支計算書、消費収支計算書及び貸借対照表の 3 表で構成されます。

学校法人行吉学園の平成 26 年度計算書類（決算書）は、監事の監査を経て、平成 27 年 5 月 22 日の理事会で承認され、つづく評議員会へ報告され了承されました。また、独立監査人である監査法人からこの計算書類は適正であるとの監査報告をうけています。

【平成 26 年度決算概要について】

平成 26 年度は、大学において入学定員を充足したものの、総収容人数が前年度を下回った為、学生生徒等納付金が減少しました。補助金の増加は、P I キャンパス B 館でライブラリー・コモンズ即ち学習支援環境の整備を行い、多額の補助金を獲得したことによります。また、基本金組入額は、平成 27 年度開設の看護学部設立準備関連で、一時的に大幅に増加しました。

看護学部設立に伴う新校舎の建設や設立準備費用などの負担増はありましたが、平成 26 年度の収支は、帰属収支差額で黒字を確保しました。

- (1) 平成 26 年度の帰属収入は、全体で前年比 123 百万円の増加となりました。学納金収入の減少があるものの、平成 27 年度開設の看護学部志願者の増加で受験料である手数料収入が増えたこと、及び補助金の獲得や退職基金財団からの交付金収入が増加したことによるものです。
- (2) 消費支出は、前年比 306 百万円増加しました。内訳は、人件費で退職金等が増加し、教育研究経費でライブラリー・コモンズの消耗品負担等があり、また、管理経費で新学部設立に伴う経費負担増によるものです。
- (3) 単年度の重要な経営指標である帰属収支差額は、35 百万円の黒字となりました。
- (4) 学生サービス及び教育環境改善に係わる施設・設備関係の充実は、須磨キャンパスのトイレ洋式化完了、P I キャンパス B 館 2 階食堂スペースの拡張と充実等を行っています。

【掲載する計算書類等】

- ・資金収支計算書（平成 26 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日まで）
- ・消費収支計算書（平成 26 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日まで）
- ・貸借対照表（平成 27 年 3 月 31 日）
- ・財産目録
- ・監査報告書